

原爆関係の慰霊碑等の概要(佐伯区内)

平成27年2月 広島市平和推進課

地区 小学校区 中学校区	名称 建立年月日 所在地	碑文、追悼歌(注)	建立者	建立経緯・来歴等
湯来東01 湯来01	水内慰霊碑 1960年11月 佐伯区湯来町麦谷1803番地の1 (湯来東小学校前)	慰霊碑 広島別院輪番小笠原彰真書	旧水内村	水内村など3村が湯来町に合併したことを記念し、旧水内村の日清戦争から太平洋戦争までの戦没者と原爆犠牲者(293人。うち原爆犠牲者は軍人・軍属42人、動員学徒13人、勤労奉仕隊員7人、義勇隊3人、徴用工員3人の68人)を慰霊するため、建立された。碑背面に犠牲者の名前が刻まれている。毎年秋、水内地区遺族会などによる慰霊行事が行われている。
湯来東02 湯来02	湯来町原爆死没者慰霊碑 1996年12月5日 佐伯区湯来町和田353番地1(佐伯区図書館湯来河野閲覧室敷地内)	被爆50周年にあたり、原子爆弾により尊い命を奪われた数多くの御霊に捧げるために、ここに原爆死没者慰霊の碑を建立する。私達、被爆者は、被爆50周年を新たな出発点として、再び悲劇を繰り返さないため、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向かって、なお一層努力することを誓います。平成8年3月 湯来町原爆被爆者の会(背面)	湯来町原爆被爆者の会、原爆死没者慰霊碑建立実行委員会	1993年、湯来町原爆被害者の会による「証言湯来のヒロシマ」の発刊が端緒となり、碑建立実行委員会を組織し、被爆50周年記念事業として建立事業を始め、1996年に碑が完成した。
湯来西01 湯来03	上水内慰霊碑 1959年9月 佐伯区湯来町多田2416番地((湯来西小学校北東)河内神社境内)	慰霊碑 広島県知事大原博夫	旧上水内村	上水内村など3村が湯来町に合併したことを記念し、旧上水内村の日清戦争から太平洋戦争までの戦没者と原爆犠牲者(204人。うち原爆犠牲者は27人)を慰霊するため、建立された。台座正面に犠牲者の名前が刻まれている。毎年秋、上水内地区戦没者追兵法要実行委員会などによる慰霊行事が行われている。
湯来南01 砂谷01	砂谷慰霊碑 1956年9月30日 佐伯区湯来町伏谷25番地の1(西光寺境内)	慰霊碑 昭和31年9月30日 龍谷勤学文学博士 大江淳誠	旧砂谷村	砂谷村など3村が湯来町に合併したことを記念し、旧砂谷村の西南戦争から太平洋戦争までの戦没者と原爆犠牲者(286人。うち原爆犠牲者は軍人・軍属33人、動員学徒8人、義勇隊8人、徴用工7人の56人)を慰霊するため、建立された。台座正面に犠牲者の名前が刻まれている。毎年秋、砂谷地区戦没者追兵法要実行委員会などによる慰霊行事が行われている。 ※見学する場合、事前連絡必要(電話0829-86-0495)
五日市中央01 五日市01	佐伯区原爆死没者慰霊碑 1995年7月2日 佐伯区五日市中央六丁目1番(五日市中央公園内北東)	被爆50周年記念 平成7年8月6日 財団法人 広島市原爆被害者協議会佐伯支部建之(背面) 広島市の願い 平和の継承(碑前の被爆石) 昭和20年(1945) 8月6日午前8時15分 あの時 あれから 50年 世界のはてすべてに 広島市の願い 平和つなぎうけつけ いつまでもいつまでも(碑右前の被爆石)	広島市原爆被害者協議会佐伯支部	被爆50周年を迎えるに当たり、広島市原爆被害者協議会佐伯支部会員の永年の願いであった碑建立が実現した。波形の曲線を持つ碑を、佐伯区を構成する旧5町村から集められた石の5重の輪が取り巻き、それに旧広島市役所庁舎の被爆石10個が配されている。被爆後から碑建立までに亡くなった1万人近い名簿は碑前の地下に埋納されている。碑とそれを囲む5重の石の輪には、被爆50周年の節目の年に、平和を希求するヒロシマの声が佐伯区から天高くのぼり、日本全国へ、さらに全世界へ波及するようにとの願いが込められている。碑前に立って、50年前の惨禍とヒロシマの願いをじっくりと考えてほしいという思いが、2個の被爆石に刻まれた簡潔な碑文に凝縮されている。
五日市01 五日市02	五日市町原爆死没者慰霊碑 1965年5月23日 佐伯区五日市二丁目1番1号(光禅寺参道)	原爆の犠牲となった人々を忘れず 原水爆のない平和な世界を築こう(正面) 原爆慰霊碑由来 1945年(昭和20年)8月6日午前8時15分広島の上空570メートルで世界最初の原子爆弾が投下されました その日は雲一つない晴天真夏の太陽がじりじりと照りつけはじめたとき1発の原爆は閃光と同時に大音響を発生瞬時にして20数万の尊い人命を奪い街を廃墟と化した 当時五日市町から広島市内各職場への通勤者軍指示による建物疎開作業市内に点在する公共の事業場兵器廠、被服廠、糧秣廠、軍需品の生産工場へ動員されていた生徒および女子挺身隊員など多数の町民が原爆の惨禍に遭遇しました 原爆はただ単に瞬間的破壊力や殺傷力が大きいだけでなく放射線によって人体の細胞組織まで破壊し永続性的原爆症の障害を終生払拭することはできません 人類が生きつづけるために再び戦争を繰り返してはなりません 原爆を体験した私たちは生証人として非人道的な原水爆の禁止を強く訴えるときとも原爆犠牲者の霊をなぐさめるためにここに原爆慰霊碑を建立しました 七尾中学校吉野誠教諭による慰霊碑のデザインは人間が合掌した像を表現したものです 碑文は広島大学教授文学博士森滝市郎氏の揮毫で蒲谷組株式会社が工事を担当 光禅寺さんのご協力での地に1965年(昭和40年)5月23日被爆20周年を記念して町民の浄財で原水爆禁止五日市町協議会が建立しました なお慰霊碑には234名の原爆死没者の氏名を謹載した過去帳と5柱の遺骨が安置されています(碑横)	原水爆禁止五日市町協議会	五日市町の原爆犠牲者239人を慰霊するため、建立された。
五日市02 五日市03	五日市町原爆・被災犠牲者慰霊碑 1965年8月6日 佐伯区五日市二丁目2番9号(正向寺境内、本堂南)	怨親平等 戦病死者 原爆死者之霊	正向寺(高光舜一氏、高光コサト氏、竹本タマヨ氏寄贈)	戦病死者及び原爆犠牲者約800人(うち原爆犠牲者は約6割)を慰霊するため、建立された。

(注)原則、漢数字は算用数字で表記しています。